

# 家庭学習のススメ～自ら学ぶ西っ子を目指して～



旭川市立永山西小学校

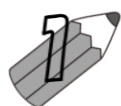
令和4年4月

子どもたちが学ぶことの意味や楽しさに気づき、生涯にわたって意欲をもち、学び続けること。これは、学校と保護者の共通の願いです。確かな学力を付けるために学校では一斉指導だけではなく、TT指導、習熟度別少人数指導、放課後学習(NST)などを通して基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することにより、その力が何倍にも高められます。

この「家庭学習のススメ」を家庭で学習する際の手がかりとして活用・見直ししていただければ幸いです。家庭学習の習慣化を図るためお役立てください。



※家庭学習とは、「宿題＋自主学習」です。



## 自発的、計画的に取り組めるように

学校からは授業で学習したことを定着させるために宿題を出しています。

◎宿題……必ずしなければならない課題で、毎日出されます。主にプリントで「読む」「書く」「計算する」など、全児童に一律に、基礎学力を身に付けることを目指します。

家庭学習では、宿題だけでなく自主学習もします。

◎自主学習…自分の興味・関心に基づいた学習をすることで、自分で課題を見付け、追究する力が高まります。また、授業で習ったことを復習することで効果的に学習内容を身に付けることができます。ノート学習だけでなく、問題集やパソコン・タブレットなど、多様な方法の中からお子さんに合ったものを選ぶことが大切です。

自主学習を進めるために、担任から家庭学習で取り組むポイントを提示したり、プランニング・チェックシートを作成したりするなど、各学年で、発達段階に応じて支援します。また、お子さんの学習の意欲を高めるために、ノートに取り組んだ場合のみ、週に1回程度、自主学習の取組を点検いたしますが、漢字や計算の丸付けを行うなど、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。



授業の終わりに「振り返り」を行い、授業と自主学習が関連するように、お子さんに取り組んだらよいことやもっと習熟練習が必要なことなどについてアドバイスします。



## 自主学習を効果的に行うために大切なこと

### ▶▶ 将来の夢やできるようになりたいことをしっかり意識させる

- ・得意なことや好きなことを深めることで自信につながります。将来の夢や「なりたい自分」を意識させて、取り組ませましょう。

### ▶▶ 生活のリズムを整え、学ぶ雰囲気をつくりましょう

- ・早寝・早起き・朝ごはんが基本です！
- ・テレビやゲームなどの時間を決め、約束事を守らせましょう。
- ・学習時間を決めさせましょう。
- ・身の回りの整理整頓をさせましょう。



### ▶▶ 努力を認め励ましましょう

- ・「よくできたね」「きれいに書けたね」など、頑張りを認める言葉かけをしましょう。
- ・ものごとをやり遂げる成功体験を積ませることで自己有用感が高まり、次の目標に向けての励ましをしましょう。

### ▶▶ 保護者こそ、最高のアドバイザーになれる！

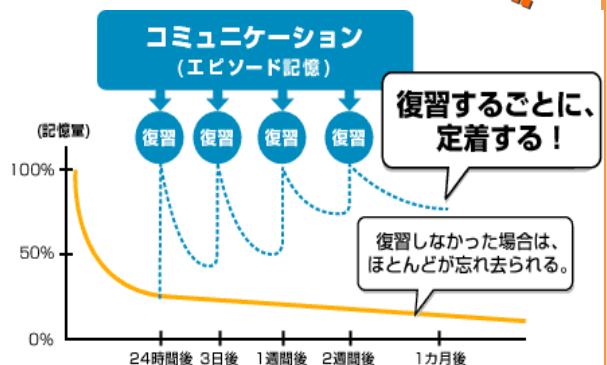


- ・プリントやテストに目をとおり、何ができて、何につまずいているか、確認してください。そして、お子さんの学習理解度に合わせて、自主学習のアドバイスを行うと、効果的に学習内容が身に付きます。
- ・お子さんの学習状況について関心をもつことは、中学校などで進路を考えていくうえで役立ちます。

## 「自主学習」では、復習が重要！

「授業では、わかっているんだけど・・・」と、お子さんがつぶやくことはありませんか？

人間は記憶を次々に塗り替えます。脳は忘れるようにできているのです。一度勉強しただけの内容は、「1日後には70%ほど忘れる」と言われています。つまり、記憶を定着させるには繰り返し勉強することが大切で、その日の授業はその日のうちに復習することが重要なのです。





## 家庭学習の目安



20分程度から 

# 学習習慣を付ける1年に

### かかわり方のポイント

勉強嫌いになる前に学習習慣を付けることが大切です。1年生は学習内容が少ないので、復習に時間をかけることで、基礎学力がしっかりと身に付きます。

#### 〈国語〉

##### （書く）

- ・日記や作文などを書く機会を増やすと、書く能力＝アウトプットする力が高まります。

##### （音読）

- ・楽しみながら、大きな声で読めるように練習させてください。
- ・句読点（「、」や「。」）に気を付けて、すらすら読めるように練習させてください。

##### （ひらがな・カタカナ・漢字）

- ・ひらがなは、曲線が多く書きづらいので、形に気を付けて書くようにします。
- ・正しい姿勢で、書き順や文字の形に気を付けて書くようにします。

##### （読書）

- ・子どもの興味や関心、学年に応じた本を手に取りやすいところに置きます。
- ・読み聞かせをしてあげることも大切です。



（100冊読むと、読解力や語彙力がグンと付くそうです。読み聞かせでもOK）

#### 〈算数〉

- ・日常でどれだけ数に親しんでいるかがカギになります。普段の遊びで「これは何個？」などと数を意識させる言葉を掛けましょう。
- ・1年生の間にくり上がり・くり下がりをしっかりマスターすれば、2年生以降の学習が楽になります。
- ・計算力を向上させるためには、まずはゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身に付けることが大切です。
- ・間違った問題は必ず見直し、もう一度やり直すことが重要です。

#### 〈その他〉

- ・音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、生活科で動植物の観察をしたりすることも大切です。
- ・楽しかったことやうれしかったことを、絵日記や日記に書くこともすすめてください。
- ・家庭での援助として、音読を聞いて、感想を言ってあげることも大切です。



## 家庭学習の目安

30分程度



# 算数は九九、漢字は倍に

### かかわり方のポイント

学校の学習進度は上がり、授業数も増えます。子どものそばにいて、アドバイスしながら、できたことをほめて、しっかり学習習慣を付けていきましょう。

#### 〈国語〉

(書く)

- 日記や作文などを書く機会を増やすと、書く能力＝アウトプットする力が高まります。

(音読)

- 楽しみながら、大きな声で読めるように練習する。
- 句読点（「、」や「。」）に気を付けて、すらすら読めるように練習する。

(漢字)

- 漢字数は、1年生の倍になるが、丁寧にゆっくり書くようにする。
- 正しい姿勢で、書き順や文字の形に気を付けて書くようにする。

(読書)

- 子どもの興味や関心、学年に応じた本を周りに置き、環境を整えます。
- 読み聞かせをしてあげることも大切です。



（100冊読むと、読解力や語彙力がグンと付くそうです。読み聞かせでもOK）

#### 〈算数〉

- 計算力を向上させるためには、まずはゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身に付けられるようにする。
- 正しく計算できるようになったら、徐々に速くできるように、時間を計って取り組ませるのが効果的です。
- 九九は、3年生以降の学習に大きくかわるので、確実に身に付けることが大切です。
- 間違った問題は必ず見直し、もう一度やり直すことが重要です。

#### 〈その他〉

- 音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、生活科で動植物の観察をしたりすることも大切です。
- 家庭での援助として、音読を聞いて、感想を言ってあげることも大切です。



## 家庭学習の目安

3年生40分，4年生50分



## 学習は，抽象的な内容が増えます

### かかわり方のポイント

3年生は，具体物で表しにくい小数や分数などの抽象的な内容が増えます。4年生では，「小数÷整数」など，これまでの学習を応用した問題に取り組みます。学習の難易度が徐々に上がってくるので，子どもの学習の様子を見守り，子どもが分からないところと一緒に考えたり，解いてみたりしながら，少しずつ自分で学習できるようにしましょう。

### 〈国語〉

(書く)

- 日記や作文などを書く機会を増やすと，書く能力＝アウトプットする力が高まります。

(音読)

- 毎日音読をする習慣を身に付ける。
- 文章を正確に読むことができるようにする。

(漢字)

- 200字以上に増えるので，繰り返し練習することが大切です。
- 正しい書き順で，正確に文字を書けるようにする。

(言葉)

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き，使い方に慣れさせます。

(読書)

- いろいろな種類の本を選んで読むようにする。

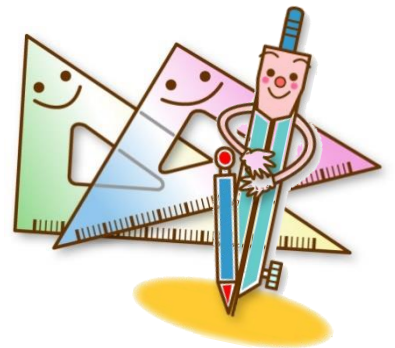
(100冊読むと，読解力や語彙力がグンと付くそうです。読み聞かせでもOK)

### 〈算数〉

- かけ算やわり算など正しい計算手順が身に付くよう，毎日練習する。
- 三角定規や分度器，コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習する。

### 〈その他〉

- 学校で学習した内容を振り返り，自分の苦手なところを繰り返し取り組むことが大切です。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業，自然に触れる体験をする。







## 家庭学習の目安

5年生60分, 6年生70分



# 自分で計画を立てて、取り組む習慣を

## かかわり方のポイント

国語では、大人が読むような本からの抜粋やグラフや表から情報を読み取る力が問われます。算数は、文字を使った式や割合、比例など、中学校を見据えた内容になります。子どもに合った学習の仕方を一緒に考えたり、子どもが計画を立てて自力で学習を進められるようアドバイスしたりしましょう。

### 〈国語〉

(書く)

- 日記や作文などを書く機会を増やすと、書く能力＝アウトプットする力が高まります。

(音読)

- 情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて練習する。
- 詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりする。

(漢字)

- 漢字の構成や字形を意識して練習する。
- 短文作りにも取り組む。

(言葉)

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れる。
- インターネットを活用して言葉調べをする。

(読書)

- 読解力を高めるために、いろいろな種類の本を選んで読書に親しむ時間を多くする。

(100冊読むと、読解力や語彙力がグンと付くそうです。読み聞かせでもOK。)

### 〈算数〉

- 計算力を向上させるために、よく間違える計算は繰り返し練習する。
- 答えの確かめを自分でできるようにする。
- 新しく学習する内容を予習して、学習の見通しをもてるようにする。

### 〈その他〉

- 学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノート、プリントなどを参考にして、自主的に勉強したり、苦手な内容に取り組んだりする。

